

研究だより



せらにし小学校研究部

令和元年 7月 8日

No. 4

6月19日(水)は、今年度第2回目の授業研究(第6学年 算数科「形が同じで大きさがちがう図形を調べよう」)がありました。授業研究を振り返るとともに、今後の方向性について確認したいと思います。

☆世羅町教育委員会学校教育課 西谷 由季子係長兼指導主事より

- ・児童の考えをしっかりと見取っていた。(1人の考えを全体に出させていく)
- ・すべての児童のレディネスをそろえる取組が十分に行われていて良かった。
- ・拡大・縮小の学習に必要な考え方は何かを十分に教材研究されていた。
- ・意図的なグループ活動が仕組まれていて良かった。

☆広島県教育委員会教育部義務教育課 升谷英子指導主事より

- ・児童が同時に学習をスタートできるような手立てを工夫して良かった。
- ・説明・伝え合い、学び合いのより一層の充実を図ってほしい。
- ・深い学びにつながる発問の工夫を考えていく。
- ・日々の授業に活かすことを考えて授業研修を行うことが大切である。

やっていますか？

◎「主体的な学び」を促す日頃の授業改善のポイントを再確認してみましょう。

「せらにし小学校の授業改善ポイント」

- ①児童が授業のゴールイメージをもっています。
- ②児童が、自分の考えをもち表現しようとします。
- ③児童が、授業で学んだことを表現します。

()について実践できていますか。7月もあとわずかですが取組を続けていきましょう。

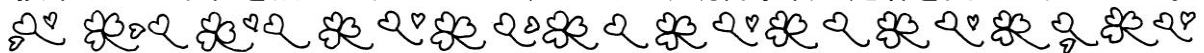
☆授業評価表から

【成果】

- ・自分の考えを持ち既習を基に説明を書くことができていた。
- ・学習規律が徹底されていて一人一人が学びに向かっていた。
- ・キーワードが出た時や迷いがある時など、児童を立ち止まらせ全員で確認をしていた。
- ・グループ活動の中で一人一人が発話し、主体的に学び合っていた。
- ・ICTの活用が効果的であった。
- ・ゴールイメージと本時のゴールが一致していて良かった。

【今後へ向けて】

- ・学習を深めていく発問の工夫。
- ・授業までの取組を残しておくことと、しっかり既習事項の定着を図っておくこと。



第2回の授業研究を受け、明日の授業から大事にしていきたいことを確認しましょう。

